

甦れ 里山民有林再生事業

間伐ボランティア「札幌ウッディーズ」

代表 河崎 盟

北海道

(平成 22 年 6 月から平成 23 年 5 月までの活動概要)

当会は、平成 12 年森林整備のボランティアを育てる北海道主催の研修会に参加した市民(22 人)が翌年の 3 月結成。その後、札幌市近郊の里山民有林を中心に森林整備の知識や技量を磨き活動してきました。この間に会員も増え、会としての規約を作成し目的を明確にしました。我々は、ボランティア精神に基づき自ら森林づくりの体験を楽しみ、豊かな森林を次代に引き継ぐために毎年活動しています。

特に、手入れがされないままの里山が、平成 16 年 9 月の 18 号台風被害により多量の風倒木が札幌近郊に発生し、処理できず手付かずの状態です。これらの問題を解決すべく微力ながら市民レベルで札幌市近郊の森林を中心に再生すべく活動しています。

今まで手がけた森林は、数箇所に及びますが、その成果が目に見えるには 5 年～10 年ぐらいかかるのが実態です。しかしながら、我々の地道な活動の成果が目に見えてきており、一部ですが確実に甦ってきております。

そこで、昨年申請し助成を受けた標記期間の活動状況を下記のとおり報告します。

1 施業活動

定例活動日は、原則として第 2 土曜日・第 4 日曜日で、随時、臨時活動日を設定。

① 間伐・枝打ち作業

当会の活動メインフィールドとして、現在、柴原山林外 4 箇所を実施し、天候に恵まれて作業が予定通り進みました。全体で 11.4ha 実施。

- ・柴原山林 札幌市南区滝野 3.5ha
- ・高川山林 小樽市桂岡 3ha
- ・田嶋山林 札幌市南区豊滝 0.4ha
- ・荒巻山林 札幌市南区小金湯 0.5ha

② 下刈り作業

・支笏湖周辺災害復興の森(千歳市—1ha 実施)外 4 箇所を今年も木々が元気に成長するために下刈り作業を行いました。全体で 8.5ha 実施。

③ 風倒木処理作業・植樹

台風被害が目立つ山林で、風倒木処理がほぼ終了し、今春跡地に植樹をしました。

- ・柴原山林 札幌市南区滝野 1.5ha 実施

2 支援活動

当会の活動に施業技術等の指導や苗木の提供等で協力関係にある団体に、今年も数回支援活動をしました。これにより人的交流が広がると同時に森林整備に係る団体との輪が少しずつ広がってきました。

- ・NPO 法人苫東コモンズ大島山林 風倒木処理作業支援 安平町 4ha 実施
- ・NPO 法人新山川草木を育てる集い 22 世紀の森下刈り作業支援 当別町 6ha 実施
- ・北海道立札幌南高等学校学校林整備事業支援(枝打指導) 札幌市清田区 0.5ha 実施

3 普及・教育活動

会員への広報活動して、会報「森林人通信」を発行。更に、市民向けにはホームページによる活動状況を紹介。また、北海道主催の「道民森づくりネットワークの集い 2010」に参加し《ノコ切り体験》コーナー等を設置し、会の活動 PR と森林の大切さについて啓発しました。

活動日			活動内容	参加人数
6月	6	日	北海道神宮 草刈り	14
	12	土	10-06定例活動 北の沢第二都市環境林 下刈り	20
	19	土	【支援】新山川草木 22世紀の森 下刈り	8
	24	木	【研修】刈払機安全衛生講習会	4
	27	日	10-07定例活動 柴原山林 風倒木処理	10
7月	10	土	10-08定例活動 田嶋山林 間伐・下刈り	16
	14・15	水・木	【研修】伐木(チェーンソー)等の業務に係わる特別教育講習	3
	17	土	【支援】新山川草木 22世紀の森 下刈り	13
	25	日	10-09定例活動 支笏湖周辺災害復興の森 下刈り	7
8月	6	金	石狩振興局「里山モデル事業」	5
	7	土	10-10定例活動 柴原山林 間伐・枝打ち	10
	29	日	10-11定例活動 柴原山林 間伐・枝打ち 第5回役員会	10
9月	3	金	石狩振興局「里山モデル事業」	4
	8	水	【支援】札幌南高等学校林	9
	11	土	10-12定例活動 柴原山林 除伐	12
	18・19	土・日	下山山林 間伐・笹刈り	11
	26	日	10-13定例活動 高川山林 薪割り	16
	30	木	石狩振興局「里山モデル事業」	4
10月	9	土	10-14定例活動 柴原山林 除伐	18
	15	金	【支援】親子ふれあい森林体験教室	3
	23	土	道民森づくりネットワークの集い	11
	24	日	10-15定例活動 荒巻山林 間伐・枝打ち	11
	30	土	【支援】NPO苫東 commons 大島山林 風倒木処理	13
11月	2	火	【支援】施業技術研修会	3
	7	日	【研修】古里オノコの森を育てる市民の集い(北海道大学苫小牧研究林)	7
	13	土	10-16定例活動 柴原山林→荒巻山林に変更 間伐	9
	23	火・祝	【支援】NPO苫東 commons 大島山林 風倒木処理	15
	28	日	10-17定例活動 柴原山林 除伐	11
12月	11	土	10-18定例活動 柴原山林 風倒木処理	13
	18・19	土・日	忘年会(春香小屋) 第6回役員会	11
1月	16・29・30	日・土・日	【研修】日本赤十字社 救急法救急員	1
	29	土	森づくり交流会2011	5
2月	6	日	【支援】北海道神宮 梅林剪定	3
	6	日	第1回役員会(エルプラザ)	9
	26	土	第2回役員会(エルプラザ) 道民による道民のための森林フォーラム&コンサート	6
3月	13	日	総会(エルプラザ)	19
	19	土	【臨時】田嶋山林 伐採	12
4月	2	土	【臨時】田嶋山林 伐採	14
	9	土	11-01定例活動【支援】NPO苫東 commons 植苗病院山林	13
	16	土	【臨時】高川山林 間伐	17
	30	土	【臨時】田嶋山林 玉切り	14
5月	1	日	【臨時】田嶋山林 玉切り	7
	5	木・祝	【臨時】田嶋山林 玉切り	9
	7	土	【臨時】柴原山林 植樹準備	16
	14	土	11-03定例活動 北山山林 枝打ち	17
	22	日	11-04定例活動 高川山林 薪割り	20
	28	土	【臨時】柴原山林 植樹	15

は、別紙の通り活動状況を紹介しています。

① 柴原山林

〔所在地〕 札幌市南区滝野

〔森林面積〕 3.5ヘクタール（施業面積3.5ヘクタール）

〔山林概要〕

平成16年の18号台風で壊滅的な打撃を受け、育林に生涯をかけてきた山主は、その惨状を悲しみつつ失意のうちに世を去った。遺族の意を受けて、平成21年から復旧支援を開始。人が集い、憩う森を目指し、風倒木の処理、被害木の搬出、跡地の植林、山林全体の除間伐、フットパス（作業道）の造成などの諸作業を実施している。

#1 平成22年6月27日（日） 天気：晴れ

【参加者】 10名

【今日の作業】

- ① 広場への薪材の搬出
- ② 北側斜面上部の風倒木の玉切り

【作業メモ】

ほぼ1ヶ月ぶりの柴原山林は様相を変えていた。

畑の前に大きな重機がデーンと置かれ、壊れかけていたバスが取り払われ、あちこちに散在していた集積材の小山もなくなり、台風過広場の風倒木も集められ、そのための立派な作業道が道路脇から作られている。



ユンボの先端に薪材をワイヤーでくくりつけ、広場まで運び、降ろす、の繰り返し。

運び出すのは薪として使えるもののみ、既に枯れてしまっているものは、その場に残し土に返す。

一人ではできないことでも、人海戦術で何とか片付けられる。そして、そこに機械が入ることで能率は上がる。能率的に仕事をしたい！これは人間の本能かもしれない。でも、ボランティアとして、手のこの楽しみも失いたくない～～！

風倒木はすっかり枯れており、枝を払い、玉切りをして、その場に放置し土に返す。

架かり木になっているものもあり、その処理も行なう。

2:30.作業終了。道具を抱えて車に戻った体は、心身ともに放心状態。お疲れさま！

#2 平成22年8月29日（日） 天気：晴れ時々曇り

【参加者】 10名

【今日の作業】

- ①入口脇のニオイヒバ林の不良木の除伐

②遊歩道の取り付け

③台風禍広場への植樹のための実生苗の選別、テープ付け

【作業メモ】

札幌の気温は、体温を超えてはいないのに、湿気を含んだ重～い空気が地上近くによどんでいて、身体にこもった熱が発散できずに身体の芯が熱い感じがする。

柴原山林までの道路脇には、もうススキがなびいているのに・・・

参加者の多くが役員なので、昼休みに予定していた役員会を、作業前、木陰で行なう。これからの活動について熱く議論し、昼近くまでかかる。早めの昼食をとってから、作業にかかる。

畑奥のカラマツ林を除伐、笹刈りした後の、明るい見通しの良い林がとてもいい。それにしても、どうしてこんなに汗は出るのだろうか。体温調節のために人間の身体は泣く泣く汗を出しているのだというが・・・ぽたぽたとたれる大粒の汗は“いい汗”ではないとか、



#3 平成22年9月11日（土） 天気：曇り

【参加者】 8名

【今日の作業】

- ① 下草（笹など）刈り
- ② 混んだ木の除伐

【作業メモ】

今日は、前から言っていた道路側法面の木を市がほとんど伐採し、なんだか「つる～っ」とした現場になっており、駐車スペースもなくなって、道路が丸見えになって、ちょっと落ち着かない雰囲気でした。

そんな中、笹刈り、混んだ木の除伐を進めていきました。

ちょっと暑さ疲れのメンバー達でしたが9時から14時30分までゆっくりと仕事を進めていき、またなかなかすっきりとした柴原山林の一コマとなりました。



気温は27度くらいと低めになったものの、動くとやはり汗だく、蚊もぶんぶんととびかかっておりました。でも、もう少ししたらお楽しみのかこの季節となるのでしょうか。

#4 平成22年10月9日(土) 天気：曇り

【参加者】 15名

【今日の作業】

① 除伐

理想的な間伐密度の7割程度に抑え、

1、2年後に再度試みるという方針で施業する

【作業メモ】

天気予報では何とか一日持ちそうなのだが、空には真っ黒い雲・・・

今年何回目の柴原山林だろう。
台風過広場や野積みの玉切り木が整備され、森の様相が一変した。

今、接している道路の工事が行なわれていて、また変化するかもしれない。

今日も、ラジオ体操から作業開始。山の整備は心地よい明るい林づくりを目指して今日も除伐を行なう。2班に分かれて、チェーンソーと手のこ・ナタで作業する。



伐倒し、枝を払い、玉切りして、樹先は杭用に整え、枝は早く土に戻るように細かく砕く。

枝は早く土に戻るように細かく砕く。暑くも寒くもなく、また陽射しもなく、作業するにはもってこいの天気。Sさんは、班長の指導の下、みっちりチェーンソーに挑戦。今日一日で10本伐倒。

お疲れさま～～！長い時間チェーンソーを持っているだけでも腕に負担がかかるので、きっと今頃身体にきているのでは？

② 田嶋山林

〔所在地〕 札幌市南区豊滝

〔森林面積〕 5ヘクタール（施業面積0.4ヘクタール）

〔山林概要〕

子ども・老人・障害者などが利用する自然公園を造成する構想のもと、私財を投じて整備が進められている。

間伐・玉切りなどの作業を実施している。

#1 平成22年7月10日（土） 天気：ショボショボ雨

【参加者】 16名

【今日の作業】

- ① 入り口脇のカラマツ林の笹刈り
- ② 間伐材の玉切り

【作業メモ】

2班に分かれて作業を行なう。ショボ降る雨の中作業開始。炎天下でも、そして今日のような雨の中でも、しっかり汗をかかせてくれる笹刈り。笹刈りは体力勝負と思いきや、刃の研ぎ具合勝負らしい。きちっと刃が研げていれば、刃を当てるだけで、笹は切れ、力は不要。刃を研ぐ技術がものをいうようだ。

摘み上げられた間伐材を2mに玉切りする。
薪材として利用するのだという。
有効に利用されることが BEST!

それぞれに自分のできる仕事を分担して行なう。
チェーンソーを使う、2mの印をつける、ナタで枝を払う、材を運ぶ、すごいチームワーク。
ひとつの目標を皆が追っている。（ワールドカップの選手みたい！）ちょっと困っていると見ると、横から助けの手が出る。うれしい！
みんな黙々と作業している。



雨も何とかひどくならず持ちこたえ、今日の作業の目標を達成した。
朝の重い気分が一掃され、すがすがしい気分で作業を終えた。

#2 平成23年4月2日（土） 天気：雪

【参加者】 15名

【今日の作業】

- ① 伐倒
- ② 枝払い

【作業メモ】

もう、4月だと言うのに吹雪き模様の天気。横なぐりの雪がふきつけ風も強い。高い枝先が大きく揺れている。

3人ずつの班に分かれ、「今日中に全部倒したい！」と言う石田さんの号令のもと皆、勇んで森に入り、作業開始。

作業は、カラマツ及び一体の樹木の伐倒と、倒した木の枝払い。

わが班は、バンバンというわけにはいかず、次々に架かり木に・・・樹径30cmを越える架かり木を処理するのは、頭と技術を要する。午後からは、チルホールを使って、架かり木の処理。樹径は細いのに、樹高は結構高く、これ又架かり木に・・・伐った元が雪に埋まってしまい、抜けない。こんな所で、労力は使いたくないのに・・・号令には遠く及ばず、作業は次回に持ち越し。

今日の反省：架かった木をどううまく処理するかも大事だけれど、いかに架かり木にしないかが、作業能率を高め安全作業の基本だなあ～。

(いつも、架かり木にしない努力はしているつもりなのだが・・・)

#3 平成23年4月30日(土) 天気：晴れ

【参加者】 20名

【今日の作業】

- ① 伐倒 ② 枝払い

【作業メモ】

この日の作業現場は田嶋山林、南区の定山溪手前、道路情報館の向かい側です。作業工程が詰まっているということでの臨時作業、30日、1日の連日の現場です。

朝からきれいな青空の下スタート、作業は倒木の玉切り作業がメイン。とても太く長い木が多いので、印をつけたところでチェーンソーで玉切りするという二人一組での作業となりました。

14センチの直径を境に、182センチと375センチの二通りに切るのですが、これがなかなか数字が頭に入らず・・・しかし、山男達は「豊富な知恵の輪」なので、まっすぐな枝で「182センチの定規」を作り、このややこしい数字も難なくクリア！！

次の難問、足場がワルイ！！大きな倒木ばかりなので、歩くにも一苦労、二苦労。上がらない足を上げ、やったことのない平均台(丸太)渡り、落ちてお尻を打って大打撲。密集する枝で腕をかきむしられ・・・しかし、これらは“ヒラリ、ハット”ではなく、“想定内”だと、報告ミーティングでの涙ぐましい報告。

そんなハードな作業でしたが、神様のご褒美は、見事な青空と爽やかな風。こんな日、こんな日にみんなで作業できる幸せ感！ああ、今日もひどくつかれましたあ！



③ 高川山林

〔所在地〕小樽市桂岡

〔森林面積〕5ヘクタール（施業面積3ヘクタール）

〔山林概要〕

住宅団地に接する雑木林で、地域住民に親しまれる森を目指している。森を心身発達のフィールドとして重視する地域の保育園が頻繁に利用するほか、小学生が野外授業で訪れる。林内景観を維持するための除間伐と薪づくりを支援している。

#1 平成23年4月16日（土） 天気：曇り後雨

【参加者】18名

【今日の作業】

- ① 倒木の玉切り
- ② 平地への運び出し

【作業メモ】

道路の雪もなくなり、小樽までの快適な道路で走り出したが、お天気が予報と共にあぶなっかしい朝でした。高川山林は、だいぶ雪も低くなり、メインの斜面は滑るには面白そうな面持ちで私達を迎えてくれました。

作業を始めると、だんだん薄日もさしてくる神様のご配慮。倒木の運び出しはとても大変ですが、ブルーシートやソリに載せてしまえば、あとは雪の力を借りての極めて面白いスベ～スベ～の作業でした。



この倒木は薪になるのですが、薪に利用するという事は、森林再利用の確実な方法であり、作業であります。

高川さんの小屋にはあったか～い薪ストーブ、これがまたやわらかいあったかさなんです。

この美味しいごはんとおいしい陽だまりのような薪の火で、もううたたね寸前の中、お昼前には小ぶりだった雨が、ご飯を食べたらやんじゃって……

午後からも頑張りました！！

久しぶりの山の仕事は、相変わらず苦しく楽しかったです。雪の楽しさも加わり、皆さんと騒ぎながらの楽しい作業の一日でした。これでやめられないんですねえ。

④ 荒巻山林

〔所在地〕 札幌市南区小金湯

〔森林面積〕 5ヘクタール（施業面積0.5ヘクタール）

〔山林概要〕

作家である山主が「現代人は、森を愛し森を畏怖する心を回復しなければならない」との思いから取得した山林である。8年前にアカエゾマツの枝打ちを行い、それが生長してきた前年と本年は間伐及び枝打ちを実施するというように、継続的な育林作業を行っている。

#1 平成22年10月24日（日） 天気：晴れ

【参加者】 11名

【今日の作業】

① アカエゾマツの除・間伐

【作業メモ】

一年ぶりの作業は、池の背後に緑濃く広がるアカエゾマツの除・間伐である。

この日に先立ち、16日に石田事務局長始め5人のメンバーがアプローチの笹刈りに出勤している。

その際に出会った地区の「用水路管理組合(?)」の方々が、「この山が、荒巻さんの山だと承知はしていたけど、きれいに整備されていて、いったい誰が管理しているのだろうか、と思っていた。あんた方だったのか」と話された由。チャンと見ている人がいるモンだな～！

作業内容の確認、準備体操などの後、それぞれに林内へ散る。昨年までに間伐を終えた部分は、陽が差して明るく、林床を丈の短い草や苔が覆っている。そして、ミズナラやイタヤカエデの稚樹がそこかしこに生えていて、一丁前に黄葉し輝いている。人工林に適切な管理を施せば、自然に針広混交林が形成されるという話を思いだした。



一本の木を伐り倒すと、その空間がスポットライトを当てられるように明るくなる。作業が進むにつれ、林内に徐々に光が満ちてくる。作業の効果がたちどころに現れると、作業者の心も明るくなる。平坦な林地で、アカエゾマツの小径木を伐倒するという作業は、比較的危険度が少なく、伐木作業のトレーニングにはもってこいの機会だ。

【参加者】 8名

【今日の作業】

① 除伐 ・ 整備

【作業メモ】

予定では、柴原山林での活動だったが、急遽荒巻山林に変更。



山はすっかり木々の葉が落ち、所々に黄葉したカラマツが残るだけだ。雪は近い。

荒巻山林でも、先月27日に降った、湿った重い雪があちこちで木を折り、林道を塞いでいる。まず、その整備から始める。今日は、前回やり残した“もう少し明るい森にしたい！”という思いで除伐を行なう。

林床に陽の光を・・・でも、強い除伐にはしたくない。

そのために、どの木を伐るか。悩む。ここまで育った木を簡単には伐れない。

不良木なら決断は早いのだが。枝先が触れ合っている状態で、どの木を残すか。迷ったら、次回に譲る。

今日は班編成せず、一人ひとり、チェーンソーを手に、森に入る。チリヂリに散ってゆく。一連の作業を一人ですると、チェーンソーのエンジンを切る機会も多く、色んな作業をすることになるので、こまめに休憩を取れる気がする。でも、山仕事は、一人では力不足の事も多く、私みたいな非力な力でも役に立つ。その逆は、もっと多く、今日もずいぶん近くの人に助けられた。

空を見上げて、木元をぐるっと廻り、少し離れて全体を見渡し、伐る木を決める。方向を決めて、倒す。

枝を払う。元から先へ。上を、向こう側を、手前を、下を。2mに玉切りし、トングに挟んで運ぶ。積み上げる。手から離れた瞬間、木と木がぶつかり合う音が林内に響く。コーン！！いい音！。山仕事をしていることを実感させてくれる。



昼休みに、パラッと来た雨も、何とかもってくれた。気になっていた、明るさを何とか実現できた。これからも、年2回程度、除伐・整備活動していくことを確認。今日も、安全にそして楽しく作業ができた。

⑤ 支笏湖周辺災害復興の森

〔所在地〕千歳市

〔森林面積〕100ヘクタール（施業面積1ヘクタール）

〔山林概要〕

セブン-イレブン記念財団が北海道森林管理局・石狩森林管理署と協定を結んで進める「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」に賛同して、2007年にトドマツ700本の植林を実施した。次年度以降も、枯損苗の補植及び下草刈りを行っている。

#1 平成22年7月25日（日） 天気：晴れ時々曇り

【参加者】7名

【今日の作業】

① 下刈り

【作業メモ】

昨日降った強い雨は、空気中の、木々の葉の埃を洗い流してくれた。空気はくっきりと澄んで、木々の緑は輝いている。陽射しは結構強く、その木漏れ日の中を支笏湖に向かうドライブは「最高！」



2007年の植樹から3年目の下刈り。

刈払機3台と手鎌で作業開始。

刈払機は、草が繁茂している箇所と、両サイドを、手鎌は植栽木の周りを刈る。

植栽木は確実に根付いてはいるが、成長が遅い。隣の、天然更新をすすめる畝と植樹した畝との草の生長の差が大きい。天然更新をすすめる畝は草でこんもりしている。植栽木がその草丈を越えるのに、あと5年はかかるだろう。

でも、植栽畝の中は草も少なく、刈払機の必要箇所も少ない。

成長が遅いことが悪いことではないのだろうが、草の生長も良くないのは植栽畝の土壤に問題ありなのでは？

2時間ほどで、作業終了。

Wさん差し入れの冷たく冷えたスイカとパイナップル。



渴いたのどに、疲れた身体に染み渡る。

生き返った～！ごちそうさま～！



⑥ 大島山林

〔所在地〕北海道勇払郡安平町遠浅

〔森林面積〕70ヘクタール（施工業面積4ヘクタール）

〔山林概要〕

「兄弟グループ」・苫東ウッドィーズが関わる約70ヘクタールの山林。

苫東工業地帯の一隅で、地域住民が森に親しむための「門戸」を開ける試みに協力し、フットパスや「森の広場」周辺の景観整備のために風倒木の処理、除・間伐、伐倒材の搬出などを行う。平成22年2月から作業参加する。

#1 平成22年11月23日（火） 天気：晴れ時々曇り

【参加者】 12名

【今日の作業】

- ① 枯死木、ツル、傾斜木、萌芽木を除去
- ② 除伐
- ③ 玉切り、藪だし

【作業メモ】

木々の葉もすっかり落ちた。その落ちた葉がフットパスを埋め尽くし、フワフワ度は綿入れ状態。

この大島山林面積は70ha 毎年3ha ずつ作業をして、20年かかる。はあ〜！。でも、死ぬまでこの森と付きあえるわけだ。みょうにうれしい。20年先の森全体も楽しみだが、日々作業するごとに美しい森に変わっていくのが見えるのがいい。

今日は、2人ずつペアを作って作業にかかる。作業内容は前回と同じ。枯死木、ツル、傾斜木、萌芽木を除去し、枝先が触れているかを目途に混み過ぎ状態を緩和するように除伐。薪に使用可能なものは、120センチ程度に玉切りし、ヤブ出しし、フットパス沿いに10本程度野積みする。

前回から気になっていた、風倒木の架かり木の処理からはじめる。根元に刃を入れる。伐り終わって、木を回そうとしたら、架かりが突然外れた。と、木の先端が枯れていたために、途中で折れて、先端部分3m程が、こちら側足元近くまでに飛んできた。想定外の現象に一同びっくり。とりあえず安全は確保できたが、全員、大きなため息と共に、苦笑い。木が倒れる時の力は想像を超えている。

太さが40cmを越える風倒木の架かり木処理。苦労した〜。チルホールを使ってもウンともスンとも言わない。人力も加わって、総出での作業となる。何とか架かりをはずした。根元は太すぎてとてもフットパスまでは運べない。出来る範囲で、玉切りし、運び出すことにする。終業間近の運び出しは、結構きついけど、やっぱり運んでよかった〜！フットパス脇に山積みされた薪材に満足感が広がる。



#2 平成23年4月9日(土) 天気：晴れ

【参加者】 13名

【今日の作業】 ① 除・間伐

【作業メモ】

今回のフィールドは苫小牧市植苗にある「植苗病院」周辺に広がる雑木林だ。「病む人と出会い 病む人を支え 病む人に学ぶ」という理念を掲げる同病院は、「森林療法」を施す病院としても注目されている。「森林療法」とは、森の中に入ることによって自律神経失調の改善を図るというものだ。森の精気にトランクライザーの効能を期待する…。我々自身が多かれ少なかれ実感しているところである。

今日は札幌ウッディーズと苫東ウッディーズという「兄弟」グループの協働作業である。

双方で20人ほどのメンバーが林内に散って、除・間伐にあたる。

札幌ウッディーズの作業区域は、伐倒対象木に予め目印のテープがつけられているので、着々と作業が進む。我々の仕事は伐倒木の枝払いと玉切りまで。集積・搬出は患者さんが作業療法の一環として行う。



久しぶりに参加した山田プロが見事な伐倒術を見せてくれた。伐倒方向を慎重に見極め、隣接する木々の両側から複雑に張り出し交叉する枝に割り込むようにして倒していく。それも、傾き木を重心線に逆らい方向をずらし次々と倒していくのだから、見ていて酔いしれる。

それにしても、苫東の雑木林はいつ来ても気持ちいい。コナラの小・中径木が優勢な林内は見通が良く、林床を枯れ葉が敷き詰め、草丈の低いエゾミヤコザサが彩りを添える。

⑦ 新山川草木 22世紀の森

〔所在地〕北海道石狩郡当別町青山中央

〔森林面積〕 施業面積 6ヘクタール

〔山林概要〕

どろ亀さんこと故高橋延清東大名誉教授の遺志を継いで、「NPO 新山川草木を育てる集い」が進める造林事業である。「道民の森」に隣接する河川敷地（水田跡地）に河畔林を造成しようというもので、平成15年以来、毎年1ヘクタールの植樹を実施しているが、当会がその下刈りを全面的に支援している。

#1 平成22年6月19日（土） 天気：晴れ

【参加者】 8名

【今日の作業】

① 下刈り

【作業メモ】

NPO 法人新山川草木の恒例行事である「22世紀の森」での下刈作業を行った。今日は今年1番の暑さで、日陰が無い中、8名の精鋭(刈払機6台)で、指定箇所全て完了した。

最初は、参加会員の少ない中、この広大な場所をどのように進められるのか不安だったが、「さすが、札幌ウッドィーズ！」早くて・綺麗に、要請あったものは全て片付けるプロ魂！

みんなの技量も上がっているので、全員のピッチが速く、私も自然に感化され、夢中で下刈りに没頭していた。とくに、好奇心旺盛なMさんは、刈払機の刃研ぎを会長から伝授され、切れ具合がまったく違ったと、童心にかえって喜んでた。また一人、プロが増えたことは大変心強い！

前半の馬力はやはり、お昼頃には年齢等体力の限界点が見えてきて、後半はみんなバテ気味。Iさんは熱中症寸前状態にまでなり、その上、日に焼けるはで、帰り道の途中、休憩睡眠を取る程の極バテでした。

7/17(土)も予定されているが、1ヶ月でまた同じ位草が伸びているだろうと考えると、気合いと技術でまた頑張ろうって感じた1日でした。

#2 平成22年7月17日（土） 天気：晴れ時々曇り

【参加者】 13名

【今日の作業】

① 下刈り

【作業メモ】

札幌を出るときは晴れていたのに、当別に近づくにつれ重い雲が垂れ込めてきて、ひょっとして雨？を思わせたが、作業中は日が射したり、曇ったり、でも暑い！

今日は、全員刈払機での作業。

どろ亀さん記念 22 世紀の森での草刈り作業は、勉強の場だ。一列に一人の作業となるので、周りを気にせず作業に没頭できる。

自分の技術を確認し、反省点を探し出せる場だ。今年、毛虫の被害が大きい。やられているのは、ミズナラが主だが、既に枯れてしまっているもの、葉っぱのほとんどを食い荒らされているものなど、この列が特にひどいのか？
(右写真:ナナカマドの根元に化石のようなマイマイガの幼虫)



午前中二列をやっと終える。水分も、ペットボトル4本を飲み干した。



昼食は、新山川草木さん特製の焼きそば入りジンギスカンをいただく。バテた身体への水分補給は当然だが、冷たいタオルで顔を拭いた後の、暖かい味噌汁と暖かい食べ物で疲れた身体は甦った。

午後からは、奥の法面と、道路側の平面の作業をする。3:00 近くまで作業をしてしまった。それでも、最後までやり遂げることは出来なかった。明日、新山川草木さんが残りを行なうことに・・・

どこから来るのか、作業中、心地よい風が吹きぬける時がある。一瞬の時間なのだが、辛いことすべてを忘れさせてくれる。

今日、自然はそんな幸せな瞬間を何度かプレゼントしてくれた。

平成23年5月 ウッディーズ 集合写真（10周年記念植樹—柴原山林にて）



